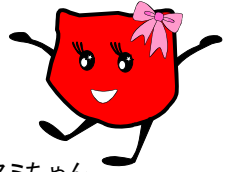


コール君

2007年 石炭灰有効利用シンポジウム

主 催 財団法人 石炭エネルギーセンター
後 援 経済産業省 資源エネルギー庁



スミちゃん

石炭灰は発電用ボイラー等での石炭の燃焼により必然的に発生するもので、石炭灰有効利用は、石炭の円滑な利用を進める上で前提条件となる重要な事項であります。また、近年その必要性が指摘されている循環型社会の形成にも大きく資するものであります。

石炭灰の主要な有効利用先はセメント原料となっておりますが、今後、土木建築分野等の有効利用拡大が望まれています。

本シンポジウムは、石炭灰の有効利用を促進するために、石炭灰の有効利用に関わる技術開発や調査研究事例等を紹介するもので、皆様方の多数のご参加をお願い申し上げます。

参加申込要領

1. 日 時 平成19年11月28日(水)09:30～16:20
2. 会 場 講演会場 アルカディア市ヶ谷 三階 富士 (定員200名)
東京都千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3261-9921
3. 費 用 参加費無料
4. 締切日 平成19年11月20日(火)
5. 申込方法 (1) 参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX又はE-mailにてお申込み下さい。
(2) 受付番号をお送りしますので、当日お知らせください。
6. 申込先 (財)石炭エネルギーセンター 技術開発部(渡辺)
TEL 03-6400-5198 FAX 03-6400-5207
E-mail: fly-ash@jcoal.or.jp



『会場』アルカディア市ヶ谷
地下鉄有楽町・南北線 市ヶ谷駅A-1-1出口
地下鉄新宿線 市ヶ谷駅A-1-1 A4出口
JR中央線(緩行)「市ヶ谷駅」
各出口から徒歩約2分

プログラム

11月28日(水)

2007年石炭灰有効利用シンポジウム

- 09:00-09:30 (30) **参加登録**
09:30-09:40 (10) **開会挨拶**
並木 徹
(財)石炭エネルギーセンター 理事長
09:40-09:50 (10) **来賓挨拶**
谷 明人
経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 石炭課長

講演

- 09:50-10:30 (40) **講演-1**
嵩 英雄
日本建築学会 フライアッシュコンクリート指針の改定内容について
工学院大学 建築都市デザイン学科 教授
- 10:30-11:10 (40) **講演-2**
中井 雅司
フライアッシュコンクリートに関する研究活動の紹介(土木学会)
北海道電力(株)火力部石炭灰リサイクル推進室リサイクル技術グループリーダー
- 11:10-11:50 (40) **講演-3**
齊藤 直
ハイボリュームフライアッシュコンクリートの日本での実用化に向けて
(株)エネルギー・エコ・マテリア 技術部 技術第二担当部長
- 11:50-13:00 (70) 昼食及びポスターセッション
- 13:00-13:40 (40) **講演-4**
湯木 敏隆
高炉スラグへのフライアッシュ溶融技術
新日本製鐵(株) 八幡製鐵所 製鉄部 製鉄技術グループ マネージャー
- 13:40-14:20 (40) **講演-5**
佐藤 研一
石炭灰の道路事業への適用と経済性について
福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 道路・土質研究室 教授
- 14:20-14:35 (15) 休憩、ポスターセッション
- 14:35-15:15 (40) **講演-6**
荻田 耕助
環境に優しい生コン工場を目指して
三豊産業有限会社 代表取締役社長
- 15:15-15:55 (40) **講演-7**
佐藤 嘉昭
石炭灰の改質処理技術
大分大学 工学部 建築構造設計 教授
- 15:55-16:15 (20) **技術総括**
長瀧 重義
愛知工業大学 工学部 都市環境学科 教授
- 16:15-16:20 (5) **閉会挨拶**
吉村佳人
(財)石炭エネルギーセンター専務理事